

★朝のリレー 前期中間 対策

名前

二年組番

Q、この詩の形式を漢字5文字で答えなさい。

口語自由詩

Q、詩を大きくわけたまとまりのことを何というか。漢字一文字で答えなさい。

連

Q、この詩はいくつの連からなるか。漢数字で答えなさい。

二

【解説】「ぼくらは朝をリレーするのだ」からが第二連となっている。

Q、「柱頭」の読みを答えなさい。

ちゅうとう

Q、「いわば」の意味として正しいものを選びなさい。

ア：なぜなら

イ：つまり

ウ：いつかは

エ：例えるなら

Q、この詩の第一連の一一行目から8行目には、どんな表現技法が使われているか答えなさい。

対句(対句法)

【解説】「カムチャツカ」に対して「メキシコ」、「若者」に対して「娘」など、対となる句を並べている。

Q、この詩の中で、カムチャツカは夜であることがわかる語句を詩から5文字で抜き出して答えなさい。

きりんの夢

Q、この詩の中で、メキシコが朝であることがわかる語句を詩から3文字で抜き出して答えなさい。

朝もや

【解説】朝もやは、朝、地面付近にできるもやもやした霧のこと

Q、この詩の中で、ニューヨークが夜であることがわかる語句を詩から4文字で抜き出して答えなさい。

寝がえり

Q、この詩の中で、ローマが朝であることがわかる語句を詩から2文字で抜き出して答えなさい。

朝陽

Q、第一連の一連目から8行目では、どんなことを伝えようとしているか。「こと」と続くように、第一連の詩の中の言葉を使って答えなさい。

この地球ではいつもどこかで朝がはじまっている(こと)

Q、「どこかで朝がはじまっている」を言い換えた文を一文抜き出しなさい。
ぼくらは朝をリレーするのだ

Q、「経度から経度へと」とあるが、経度から経度へと何をするのか。詩の中から7文字で抜き出して答えなさい。

朝をリレーする

Q、「ぼくらは朝をリレーするのだ 経度から経度へと」で使われている表現技法を次の中から2つ選びなさい。

- ア..隠喻
- イ..直喻
- ウ..倒置法
- エ..擬人法

Q、この詩の中では「夜」と「朝」が繰り返し表現をされていることが特徴である。その特徴から、筆者は何を伝えたいのか。簡潔に書きなさい。

どこかで誰かが目を覚まし、朝をリレーすること
世界はつながっていて、みなで地球を守っているということ。

★ 野原はうたう 前期中間 対策

名前

二年組番

Q、「あしたこそ」では、表現技法が使われているが、【使われている一行】と、なんど
いう【表現技法】が使われているか答えなさい。

【使われている一行】とんでもない、どこまでも

【使われている表現技法】倒置法

Q、「あしたこそ」の詩の季節を答えなさい。

春

Q、「あしたこそ」の詩のテーマとして最も適切なものを、次の中から選びなさい。

ア..親が子供を心配する気持ち

ウ..新たな旅立ちへの決意と希望

エ..試練に何度も立ち向かう力

Q、「あしたこそ」で「はなひらく ひを ゆめにみて」で使われている表現技法を答え
なさい。

擬人法

Q、「おれはかまきり」で使われている表現技法を答えなさい。

対句(法)

Q、「おれはかまきり」の詩の季節は夏だが、「おう なつだぜ」という行以外に、夏だ
といふことが分かる行を2つ書き抜きなさい。

・おう なつだぜ

・もえる ひをあげて

Q、「おれはかまきり」では、「あまり ちかよるな」とあるが、その理由として最も適
切なものを次のなかから選びなさい。

ア..夏の厳しい暑さをうつとうしく思っているから

イ..夏の暑さの中でも、ひとりでがんばろうと思っているから

ウ..自慢のかまの手入れに夢中だから

エ..夏になり力がみなぎった自分は危険だから

Q、「おれはかまきり」では、「ひかつてるぜ」とあるが、何がひかつてているのか。詩の中から最も適切な一行を書き抜きなさい。

おれの こころも かまも

Q、「おれはかまきり」では、「きまつて いるぜ」とあるが、何がきまつて いるのか。詩の中から最も適切な一行を書き抜きなさい。

かまを ふりかざす すがた

Q、「おれはかまきり」の詩のテーマとして最も適切なものを、次の中から選びなさい。
ア..厳しい夏の暑さに耐える精神力 イ..かまきりの孤独な自然との戦い
ウ..運命を受け入れる覚悟と忍耐 エ..小さな生き物の生命力と自信

★ はじまりの風 前期中間 対策

名前

年組
番

Q、p.22「風景」の類義語（似た意味の語）として不適切なものを、次から一つ選びなさい。

ア 光景 イ 絶景
ウ 情景 ハ 景色

Q、p.22「すたすたと」は、どのような様子を表しますか。適切なものを、次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 足早に歩く様子 イ のんびり歩く様子

ウ 力強く歩く様子 エ たどたどしく歩く様子

Q、p.22「一人で絵を眺めているレン」とあります。 「絵」はどこにあるのですか。適切なものを、次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア レンのクラスの教室 イ 学校の廊下
ウ 学校から見える町の一角

Q、「絵」には何が描かれていたか。文章中の言葉を使い、二十字以内で書きなさい。

(例)この町の一角にある、いちょう並木と時計。

Q、レンが絵を眺める様子を、次のようにまとめます。空欄に入る言葉を、①は五字、

②は十三字で答えなさい。

・絵に描かれているのは、レンにとって見覚えのある風景だったが、(①)がして、レンは(②)眺めている。

①新鮮な感じ

②思わず引き込まれて、じっと

Q、p.23「レンは、取り残されたような気がした」とありますが、それはなぜですか。次の空欄に入る言葉を、①は五字、②は九字で答えなさい。

・友達は(①)を迷わずに選んでやっているのに、自分は新しく始めたいことが(②)から。

①好きないこと
②まだわかつていない

Q、p.23「ノンは、吸い寄せられるように、いちょう並木の方へ向かった」は、レンのどんな様子を表していますか。適切なものを、次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア あの絵に描かれているいちょう並木を見に行こうとつぜん思い立ち行動する様子。

イ あの絵に描かれているいちょう並木を見に行こうとつぜん思ひ立ち行動する様子。

ウ あの絵に描かれているいちょう並木の方に自然と気持ちが向き、そちらへ向かう様子。

エ あの絵に描かれているいちょう並木がある場所をぐうぜん通りかかった様子。

Q、p.24「」の季節」とは、いつですか。次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 春 イ 夏 ウ 秋 エ 冬

Q、p.24「レンは、はつとした」とあります。その理由として適切なものを、次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア いちょう並木の先に時計台が見える風景は、絵にふやわしい風景だと感じたから。

イ あの絵に描かれている風景が、今いる位置からの眺めであることに気づいたから。

ウ あの絵の作者が想像で描いたと思っていた風景が、実際に存在するところがわかつてびっくりしたから。

エ 今いる場所の風景を描いたあの絵の作者の心情が、同じ場所に立つことで、とつぜん理解できたから。

Q、レンがいちょう並木を見ている場面において、レンの心に明るい変化が起きそういうことを、情景と重ねて暗示している部分があります。その部分を連続した二文で探し、初めの四字を書きなさい

ふわりと

Q、p.26「思い切った色彩」とありますが、具体的にどのような色彩で描かれているのですか。文章中から十七字で探し、初めと終わりの五字を書きなさい。

ピンクと青～かれていた

Q、p.26「ジは躍つた」とありますが、「」の部分からわかるレンの気持ちとして不適切なものを、次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア わくわくする気持ち

ウ 不安に満ちた気持ち

イ 暗い、どきどきする気持ち
エ 明るく楽しい気持ち

Q、p.26「絵が好きなんだね」とありますが、美術の先生がレンに声を掛けた理由として適切なものを、次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 何度も絵を眺めているレンを不(ふ)審(しん)に思つたから。
イ 一人きりで絵を眺めているレンを心配に思つたから。

ウ 絵に関心をもつレンと、絵の話ををしてみたいと思つたから。

エ 美術部に入るか迷つているレンを、勧(かん)誘(ゆう)したいと思つたから。

Q、p.26「美術の先生」は、あの絵のどんなところがいいとレンに話していますか。文章中の言葉を使い、簡潔に書きなさい。

(例) 見えない風を描いているといふ。

Q、p.27「窓から差しこむ光が少し強くなり、廊下はやけによりも明るくなつた」とありますが、この情景の変化は、レンの気持ちの変化を表していると考えられます。レンの気持ちの変化について説明した次の文の空欄に入る言葉を、①は十字以内、②は五字以内で書きなさい。③は、後の「」の中から適切なものを一つ選び、記号で答えなさい。

・レンは、中学校で(①)が見つかって(③)気持ちになつていて。(②)といふ(①)が見つかって(③)気持ちになつていて。

「ア 落ち着かない イ あせる ウ 緊張した エ 前向きな」

①(例)新しくやりたいこと

②絵を描く

③エ

Q、時間や場所の変化から文章を三つの場面に分けるとすると、どのように分けられるか。二つの場面と三つの場面のそれぞれ初めの五字を書きぬきなさい。

二つめ…次の日曜日

三つめ…月曜日、ま

★ 「ダイコンは大きな根？」 前期中間 対策

名前

二年組番

Q、「ダイコンは大きな根？」の導入の役割として、例として登場する野菜を全て答えなさい。

・キャベツ・レタス・トマト・ナス

【解説】「ダイコンは大きな根？」では、第一段落が導入の役割の段落である。

Q、本文には筆者からの問いかけが2つ書かれているが、それぞれの問いかけが書かれている一文を、本文に書かれている順に2つ、抜き出して書きなさい。

【一つ目】それでは、私たちが普段食べているダイコンの白い部分はどの器官なのでしょうか。【二つ目】なぜ、ちがっているのでしょうか。

Q、問2の「問い合わせ」のうち、一つ目の問い合わせの答えをまとめている一文を本文から抜き出して書きなさい。

つまり、ダイコンの白い部分は、根と胚軸の二つの器官からなっているのです。

Q、筆者は、問2の「問い合わせ」のうち、一つ目の問い合わせに答えるためにカイワレダイコンを取り上げているが、この文章の中ではカイワレダイコンを何と定義しているか。六文字で書きなさい。

ダイコンの芽

Q、「虫の害から身を守るため、辛み成分を蓄えているのです。」とあるが、「虫の害から身を守る」必要がある理由が分かる続きの二文を本文から抜き出し、それぞれ最初の10字を答えなさい。

・根には、葉で作られた
・これは、いずれ花を咲

【解説】虫の害とは、土の中の虫に根が食べられてしまうこと。そして、虫に根が食べられないようにする理由は、根には葉で作られた栄養分が豊富に運ばれ、それは花を咲かす時期に使う大切な栄養分だから。

Q、「大根下ろしを作るときに、辛いのが好きな人は下の部分が向いていますし、辛いのが苦手な人は上の部分を使うと辛みの少ない大根下ろしを作ることができます。」とあるが、その理由が分かるもつとも適切な一文を本文から抜き出して書きなさい。

ダイコンのいちばん上の部分と、いちばん下の部分を比較すると、下のほうが十倍も辛み成分が多いのです。

Q、ダイコンを力強く直線的に下ろすと、より辛みが増し、円を描くようにやさしく下すと、辛みが抑えられる理由が分かるもつとも適切な一文を本文から抜き出して書きなさい。

そのため、たくさんの細胞が壊れるほど辛みが増すことになります。

Q、「ダイコンは大きな根?」では題名の大根を「漢字」で表記していない。これを踏まえて、次の条件にしたがって本文の内容をまとめ、ダイコンは大きな根かどうか答えなさい。

【条件】

- ・「ダイコン」「大根」「漢字」「白い部分」というワードを使うこと。

ダイコンは漢字では「大根」と書くが、白い部分は根だけでなく胚軸の二つの器官から成り立っているため、完全な根とは言えない。

Q、「ダイコンは大きな根?」で筆者のもつとも主張したいことは何か、説明した次の文の中から、もつとも適切なものを選びなさい。

イ：私たちが食べているダイコンの白い部分は、根と胚軸の二つの器官から成っているのである。

ウ：大根下ろしを作る時は、ダイコンの特徴を活用して調理すれば、辛みを少なくしたり、強くしたりするなど、さまざまな味を引き出すことができる。

エ：私たちが普段何気なく食べている野菜は、植物として観察してみると興味深い発見があり、新しい魅力が見えてくる。

部首一覧

心	ノ	广	厂	宀	戸	シ	口	ヰ	阝	阝	宀	リ	イ	形	部首名	漢字の例
こころ	にすい	やまいだれ	がんだれ	まだれ	てへん	しかばね	さんずい	くにがまえ	くさかんむり	ぎょうにんべん	おおざと	こざと	おおざと	うかんむり	りつとう	にんべん
応急志念	冷凍凝准	痛症疲病	原厄厘	広床店度	持打払折	尺尽局尾	海汗池決	国四回囲	草花芸英	役行後待	阿陰隊隠	郊邪郷郡	安宇守完	刊別判利	仁代仕仮	漢字の例
又	言	ト	彳	彳	𠂔	頁	門	走	辵	禾	宀	穴	宀	宀	川	形
えんによう	ごんべん	りっしんべん	ぎょうにんべん	たけかんむり	あめかんむり	おおがい	もんがまえ	そくによう	しんによう	のぎへん	ころもへん	あなかんむり	しめすへん	けものへん	れつか	部首名
建延廷廻	語計許訴	快慣忙悔	役徑彼待	笑第筋答	雪雲電震	頂順頑頭	閉開閑閣	起越趣題	週返近述	秋科秒秘	複被補裸	究空窓突	礼社祝神	猫獨狩狂	点煮焦然	漢字の例



練習

解答

次の漢字の部首名を答えなさい。

次の文章を読んで、下の間に答えなさい。

月曜日、また絵の所へ行つてみた。いちはう並木と時計。昨日、自分が立つた場所を、レンは「絵の中に見た。思い切つた色彩で描かれた風景に、心は躍つた。この絵に、そんなにも引きつけられることが、自分でも不思議だつた。

「絵が好きなんだね。」

後ろで声がした。レンは振り向いた。^①美術の先生だった。

「この前も、ここで見ていたでしょう。」

「はい。これ、あのいちょう並木ですよね。」

「ええ、きっと。これを描いた人、この学校の卒業生なんですよ。」

「そうなんですね。」

先生はレンの横に立つた。

「見えない風を描いているっていうところがいいよね。」

「風……。」

先生はにっこりした。

それから、楽しそうな足取りで美術室へ向かうと、ドアを開け、中に入った。ドアが閉まるとき、辺りはまた静かになつた。薄暗い廊下

を、窓からの光が照らしている。

もう一度、レンは、ゆっくりと絵を眺めた。

確かに、見えないはずの風が表現されている

気がした。少し、どきどきした。自分も絵を描いてみたい、と思った。窓から差しこむ光が少し強くなり、廊下はさつきよりも明るくなつた。

やつてみよう。

ピンクと青と緑と黄色が、色とりどりのそよ風のよう動きだす氣がした。レンの心にも、ざわざわと風が吹き始めた。

よう動き出す氣がした。

↓①新しいことに挑戦する

②そのことに對して、意欲が高まっている

この二つをもとに考えよう!



問われていること

ここに注目

最後の一文から読み取れるレンの気持ち。

最後の一文の前の二文に注目。

「新しいことをやってみよう。」

ピンクと青と緑と黄色が、色とりどりのそよ風の

よう動き出す氣がした。」

↓①新しいことに挑戦する

②そのことに對して、意欲が高まっている

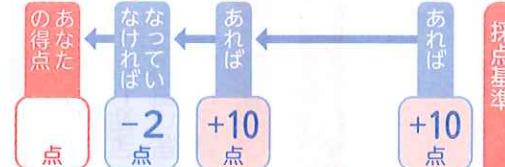
条件をチェック

③指定の一語を使い、文末は「気持つ」で結ぶ。

指定語「新しいこと」「意欲」を使つていない。

これはX

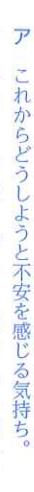
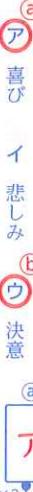
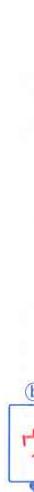
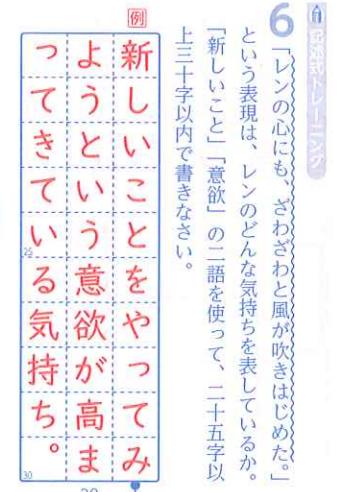
25~30字で書いていない。



答えの要素

①新しいことをやってみる」という要素。

新	し	い	こ	と	を	や	つ	て	み
よ	う	と	い	う	意	欲	が	高	ま
つ	て	き	て	い	る	意	欲	が	高
き	き	て	い	る	意	欲	が	高	ま
た	き	て	い	る	意	欲	が	高	ま



記述式トレーニングの自己採点ナビ

自己採点ナビ

記述式

問われていること
ここに注目

ダイコンは下にいくほど辛みが増すのは、なんのためか。

- ・根には、葉で作られた栄養分が運ばれてくる。
- ・それは、いずれ花を咲かせるための栄養分。
- この内容をまとめよう。



(翻訳案 ダイコンは大きな根? より)

条件をチェック

③文末は「ため」などで結ぶ。

これは×

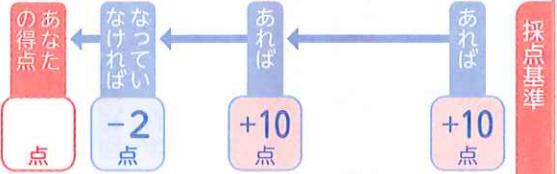
指定語「花」「虫」を使っていない。

20~30字で書いていない。

②「虫に食べられないため」という要素。	①「花を咲かせるための栄養分」という要素。
なつていい	あれば

答える要素

採点基準



【1】この二つの器官は、じつは味も違っています。なぜ、違っているのでしょうか。
 【2】胚軸の部分は水分が多く、あまりがあるのが特徴です。胚軸は、地下の根で吸収した水分を地上の葉などに送り、葉で作られた糖分などの栄養分を根に送る役割をしているからです。
 【3】いっぽう、根の部分は辛いのが特徴です。ダイコンは下にいくほど辛みが増していきます。なぜ、下のほうが十倍も辛み成分が多いのです。ここには、植物の知恵ともいえる理由がかくされています。
 【4】根には、葉で作られた栄養分が豊富に運ばれてきます。これは、いずれ花を咲かせる時期に使う大切な栄養分なので、土の中の虫に食べられては困ります。そこで、虫の害から身を守るために、辛み成分を蓄えています。ダイコンの辛み成分は、普段は細胞の中にあります。虫にかじられて細胞が破壊されると、化学反応を起こして、辛みを発揮するような仕組みになっています。そのため、たくさんの細胞が壊れるほど辛みが増すことがあります。

【5】これらの特徴を活用して調理すると、ダイコンのさまざまな味を作ることができます。例えば、大根下ろしを作るときに、辛いのが好きな人は②の部分を使うと辛みの少ない大根下ろしを作ることができます。また、ダイコンを力強く直線的に下ろすと、細胞が破壊されて、より辛みが増します。逆に、円を描くようにやさしく下ろせば、破壊される細胞が少なくなり、辛みが抑えられるのです。



次の文章を読んで、下の問いに答えなさい。

【1】この二つの器官は、じつは味も違っています。なぜ、違っているのでしょうか。

【2】胚軸の部分を比較すると、下のほうが十倍も辛み成分が多いのです。ここには、植物の知恵ともいえる理由がかくされています。

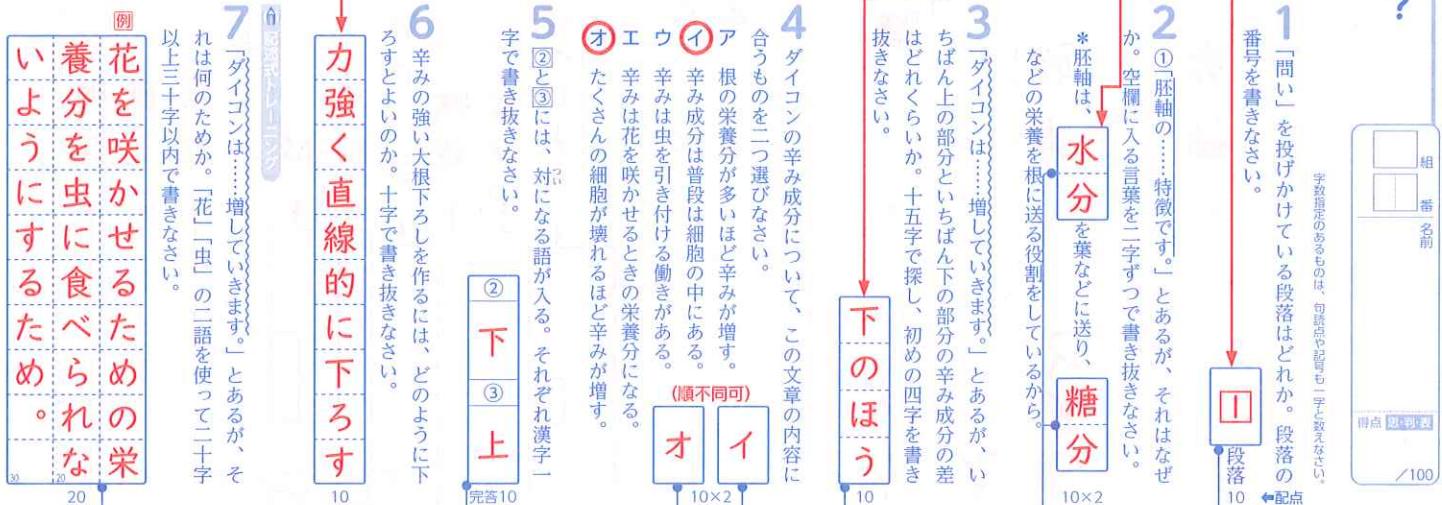
【3】「ダイコノは……増していきます。」とあるが、い

ちばん上の部分といちばん下の部分の辛み成分の差はどれくらいか。十五字で探し、初めの四字を書き抜きなさい。

*胚軸は、**水分**を葉などに送り、**糖分**を根に送る役割をしているから。

【1】段落の一文目で、「なぜ……でしょう。」と問い合わせている。

【2】直後の文に書かれている。



5 ダイコンは、下にいくほど辛いと説明されていることから考へる。

○花を咲かせるときの大

な栄養分を虫に食べられ

るのを防ぐため。

○根に運ばれた花を咲かせ

るための栄養分を、虫の

害から守るため。

4 イ④段落の六~七行目に同じ段落には、「いちばん上の部分と、いちばん下の部分を比較すると、下のほうが十倍も辛み成分が多い」とある。

3 同じ段落に、「いちばん上の部分と、いちばん下の部分と、いちばん下の部

分を比較すると、下のほうが十倍も辛み成分が多い」とある。

2 直後の文に書かれている。

1 ①段落の一文目で、「なぜ……でしょう。」と問い合わせている。

2 直後の文に書かれている。

3 同じ段落に、「いちばん上の部分と、いちばん下の部分と、いちばん下の部

分を比較すると、下のほうが十倍も辛み成分が多い」とある。

4 イ④段落の六~七行目に同じ段落には、「いちばん上の部分と、いちばん下の部分と、いちばん下の部

分を比較すると、下のほうが十倍も辛み成分が多い」とある。

3 同じ段落に、「いちばん上の部分と、いちばん下の部分と、いちばん下の部

分を比較すると、下のほうが十倍も辛み成分が多い」とある。

2 直後の文に書かれている。

1 ①段落の一文目で、「なぜ……でしょう。」と問い合わせている。

2 直後の文に書かれている。

3 同じ段落に、「いちばん上の部分と、いちばん下の部分と、いちばん下の部

分を比較すると、下のほうが十倍も辛み成分が多い」とある。

4 イ④段落の六~七行目に同じ段落には、「いちばん上の部分と、いちばん下の部分と、いちばん下の部

分を比較すると、下のほうが十倍も辛み成分が多い」とある。

3 同じ段落に、「いちばん上の部分と、いちばん下の部分と、いちばん下の部

分を比較すると、下のほうが十倍も辛み成分が多い」とある。

2 直後の文に書かれている。

1 ①段落の一文目で、「なぜ……でしょう。」と問い合わせている。

2 直後の文に書かれている。

3 同じ段落に、「いちばん上の部分と、いちばん下の部分と、いちばん下の部

分を比較すると、下のほうが十倍も辛み成分が多い」とある。

4 イ④段落の六~七行目に同じ段落には、「いちばん上の部分と、いちばん下の部分と、いちばん下の部

分を比較すると、下のほうが十倍も辛み成分が多い」とある。

3 同じ段落に、「いちばん上の部分と、いちばん下の部分と、いちばん下の部

分を比較すると、下のほうが十倍も辛み成分が多い」とある。

2 直後の文に書かれている。

1 ①段落の一文目で、「なぜ……でしょう。」と問い合わせている。

2 直後の文に書かれている。

3 同じ段落に、「いちばん上の部分と、いちばん下の部分と、いちばん下の部

分を比較すると、下のほうが十倍も辛み成分が多い」とある。

4 イ④段落の六~七行目に同じ段落には、「いちばん上の部分と、いちばん下の部分と、いちばん下の部

分を比較すると、下のほうが十倍も辛み成分が多い」とある。

3 同じ段落に、「いちばん上の部分と、いちばん下の部分と、いちばん下の部

分を比較すると、下のほうが十倍も辛み成分が多い」とある。

2 直後の文に書かれている。

1 ①段落の一文目で、「なぜ……でしょう。」と問い合わせている。

2 直後の文に書かれている。

3 同じ段落に、「いちばん上の部分と、いちばん下の部分と、いちばん下の部

分を比較すると、下のほうが十倍も辛み成分が多い」とある。

4 イ④段落の六~七行目に同じ段落には、「いちばん上の部分と、いちばん下の部分と、いちばん下の部

分を比較すると、下のほうが十倍も辛み成分が多い」とある。

3 同じ段落に、「いちばん上の部分と、いちばん下の部分と、いちばん下の部

分を比較すると、下のほうが十倍も辛み成分が多い」とある。

2 直後の文に書かれている。

1 ①段落の一文目で、「なぜ……でしょう。」と問い合わせている。

2 直後の文に書かれている。

3 同じ段落に、「いちばん上の部分と、いちばん下の部分と、いちばん下の部

分を比較すると、下のほうが十倍も辛み成分が多い」とある。

4 イ④段落の六~七行目に同じ段落には、「いちばん上の部分と、いちばん下の部分と、いちばん下の部

分を比較すると、下のほうが十倍も辛み成分が多い」とある。

3 同じ段落に、「いちばん上の部分と、いちばん下の部分と、いちばん下の部

分を比較すると、下のほうが十倍も辛み成分が多い」とある。

2 直後の文に書かれている。

1 ①段落の一文目で、「なぜ……でしょう。」と問い合わせている。

2 直後の文に書かれている。

3 同じ段落に、「いちばん上の部分と、いちばん下の部分と、いちばん下の部

分を比較すると、下のほうが十倍も辛み成分が多い」とある。

4 イ④段落の六~七行目に同じ段落には、「いちばん上の部分と、いちばん下の部分と、いちばん下の部

分を比較すると、下のほうが十倍も辛み成分が多い」とある。

3 同じ段落に、「いちばん上の部分と、いちばん下の部分と、いちばん下の部

分を比較すると、下のほうが十倍も辛み成分が多い」とある。

2 直後の文に書かれている。

1 ①段落の一文目で、「なぜ……でしょう。」と問い合わせている。

2 直後の文に書かれている。

3 同じ段落に、「いちばん上の部分と、いちばん下の部分と、いちばん下の部

分を比較すると、下のほうが十倍も辛み成分が多い」とある。

4 イ④段落の六~七行目に同じ段落には、「いちばん上の部分と、いちばん下の部分と、いちばん下の部

分を比較すると、下のほうが十倍も辛み成分が多い」とある。

3 同じ段落に、「いちばん上の部分と、いちばん下の部分と、いちばん下の部

分を比較すると、下のほうが十倍も辛み成分が多い」とある。

2 直後の文に書かれている。

1 ①段落の一文目で、「なぜ……でしょう。」と問い合わせている。

2 直後の文に書かれている。

3 同じ段落に、「いちばん上の部分と、いちばん下の部分と、いちばん下の部

分を比較すると、下のほうが十倍も辛み成分が多い」とある。

4 イ④段落の六~七行目に同じ段落には、「いちばん上の部分と、いちばん下の部分と、いちばん下の部

分を比較すると、下のほうが十倍も辛み成分が多い」とある。

3 同じ段落に、「いちばん上の部分と、いちばん下の部分と、いちばん下の部

分を比較すると、下のほうが十倍も辛み成分が多い」とある。

2 直後の文に書かれている。

1 ①段落の一文目で、「なぜ……でしょう。」と問い合わせている。

2 直後の文に書かれている。

3 同じ段落に、「いちばん上の部分と、いちばん下の部分と、いちばん下の部

分を比較すると、下のほうが十倍も辛み成分が多い」とある。

4 イ④段落の六~七行目に同じ段落には、「いちばん上の部分と、いちばん下の部分と、いちばん下の部

分を比較すると、下のほうが十倍も辛み成分が多い」とある。

3 同じ段落に、「いちばん上の部分と、いちばん下の部分と、いちばん下の部

分を比較すると、下のほうが十倍も辛み成分が多い」とある。

2 直後の文に書かれている。

1 ①段落の一文目で、「なぜ……でしょう。」と問い合わせている。

2 直後の文に書かれている。

3 同じ段落に、「いちばん上の部分と、いちばん下の部分と、いちばん下の部

分を比較すると、下のほうが十倍も辛み成分が多い」とある。

4 イ④段落の六~七行目に同じ段落には、「いちばん上の部分と、いちばん下の部分と、いちばん下の部

分を比較すると、下のほうが十倍も辛み成分が多い」とある。

3 同じ段落に、「いちばん上の部分と、いちばん下の部分と、いちばん下の部

分を比較すると、下のほうが十倍も辛み成分が多い」とある。

2 直後の文に書かれている。

1 ①段落の一文目で、「なぜ……でしょう。」と問い合わせている。

2 直後の文に書かれている。

3 同じ段落に、「いちばん上の部分と、いちばん下の部分と、いちばん下の部

分を比較すると、下のほうが十倍も辛み成分が多い」とある。

4 イ④段落の六~七行目に同じ段落には、「いちばん上の部分と、いちばん下の部分と、いちばん下の部

分を比較すると、下のほうが十倍も辛み成分が多い」とある。

3 同じ段落に、「いちばん上の部分と、いちばん下の部分と、いちばん下の部

分を比較すると、下のほうが十倍も辛み成分が多い」とある。

2 直後の文に書かれている。

1 ①段落の一文目で、「なぜ……でしょう。」と問い合わせている。

2 直後の文に書かれている。

3 同じ段落に、「いちばん上の部分と、いちばん下の部分と、いちばん下の部

分を比較すると、下のほうが十倍も辛み成分が多い」とある。

4 イ④段落の六~七行目に同じ段落には、「いちばん上の部分と、いちばん下の部分と、いちばん下の部

分を比較すると、下のほうが十倍も辛み成分が多い」とある。

3 同じ段落に、「いちばん上の部分と、いちばん下の部分と、いちばん下の部

分を比較すると、下のほうが十倍も辛み成分が多い」とある。

2 直後の文に書かれている。

1 ①段落の一文目で、「なぜ……でしょう。」と問い合わせている。

2 直後の文に書かれている。

3 同じ段落に、「いちばん上の部分と、いちばん下の部分と、いちばん下の部

分を比較すると、下のほうが十倍も辛み成分が多い」とある。

4 イ④段落の六~七行目に同じ段落には、「いちばん上の部分と、いちばん下の部分と、いちばん下の部